



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 第一三共株式会社

コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中山 譲治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション部長

(氏名) 石田 憲昭

TEL 03-6225-1125

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	525,405	1.7	68,811	30.6	65,367	49.0	50,308	59.2	50,326	50.3	74,978	36.2
26年3月期第2四半期	516,764	—	52,681	—	43,861	—	31,609	—	33,479	—	55,048	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円銭		円銭	
27年3月期第2四半期	71.49		71.34	
26年3月期第2四半期	47.56		47.47	

【第一三共グループ経営成績(累計)】

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	429,590	0.1	58,738	17.2	60,663	20.8	35,496	0.8
26年3月期第2四半期	429,133	—	50,112	—	50,198	—	35,210	—

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円		百万円		百万円	%	円銭
27年3月期第2四半期	1,838,069		1,061,641		1,032,735	56.2	1,466.99
26年3月期	1,854,037		1,007,527		979,933	52.9	1,392.03

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭				
26年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
27年3月期	—	30.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	900,000	△19.5	100,000	△10.4	100,000	0.2	65,000	6.7
							円銭	
							92.33	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)平成27年3月期通期業績予想は、第一三共グループのみの見通しを記載しております。

なお、サン・ファーマによるランバクシーの吸収合併完了後、ランバクシーグループの最終損益、並びにランバクシー株式とサン・ファーマ株式の交換に伴う損益等是非継続事業に係る損益として計上される予定です。

また、第一三共グループのみの前期数値と比較した場合、売上収益は前期実績899,126百万円に対して0.1%増、営業利益は前期実績112,885百万円に対して11.4%減、税引前利益は前期実績112,914百万円に対して11.4%減、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期実績68,832百万円に対して5.6%減となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は、13ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	709,011,343 株	26年3月期	709,011,343 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	5,028,366 株	26年3月期	5,051,576 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	703,962,156 株	26年3月期2Q	703,953,537 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、要約四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、12ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
【連結業績】	2
【セグメント報告】	5
【研究開発活動】	10
【生産・物流活動】	11
(2) 財政状態に関する説明	12
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	12
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	13
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	13
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	13
3. 要約四半期連結財務諸表	14
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	14
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	16
要約四半期連結損益計算書	16
要約四半期連結包括利益計算書	17
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	18
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	19
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	20
(継続企業の前提に関する注記)	20
(セグメント情報等)	20
(重要な後発事象)	21

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2014年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用しております。

## (1) 経営成績に関する説明

## 【連結業績】

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
売上収益	516,764	525,405	8,641 1.7%
営業利益	52,681	68,811	16,129 30.6%
税引前四半期利益	43,861	65,367	21,505 49.0%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	33,479	50,326	16,846 50.3%

なお、第一三共グループの業績は以下のとおりであります。

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
売上収益	429,133	429,590	457 0.1%
営業利益	50,112	58,738	8,626 17.2%
税引前四半期利益	50,198	60,663	10,464 20.8%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	35,210	35,496	286 0.8%

## &lt;グローバル主力品売上収益&gt;

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

品 目	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
オルメサルタン 高血圧症治療剤	147,536	142,229	△5,307 △3.6%
プラスグレル 抗血小板剤	10,843	11,675	832 7.7%

## &lt;研究開発費&gt;

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計
研究開発費	94,840	88,822
対売上収益比率	18.4%	16.9%

## &lt;主要通貨の日本円への換算レート(期中平均レート)&gt;

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計
1米ドル/円	98.86	103.05
1ユーロ/円	130.01	138.91
1インドルピー/円	1.74	1.72

### ① 売上収益

当第2四半期連結累計期間(2014年4月1日～2014年9月30日)の売上収益は、86億円増収の5,254億円(前年同期比1.7%増)となりました。

日本では主力品が伸長したものの、薬価改定や消費税率改定の影響に加えジェネリック薬の伸長による影響も大きくなってきており、減収となりました。

一方、欧州、その他の地域及びランバクシーグループの伸長並びに為替の寄与により、グループ全体では増収となりました。

### ② 営業利益

営業利益は、161億円増益の688億円(前年同期比30.6%増)となりました。

売上総利益の増加に加え販売費及び一般管理費、研究開発費の減少により、増益となりました。

### ③ 税引前四半期利益

税引前四半期利益は、215億円増益の654億円(前年同期比49.0%増)となりました。

金融収益の増加及び金融費用の減少等により、営業利益よりも大幅な増益となっております。

### ④ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前利益の増加等により、168億円増益の503億円(前年同期比50.3%増)となりました。

## 【セグメント報告】

## ① 第一三共グループ セグメント

売上収益は、6億円増収の4,290億円（前年同期比0.1%増）となりました。

営業利益は、86億円増益の587億円（連結調整前、前年同期比17.2%増）となりました。

## a. 日本

日本の売上収益は、2,553億円（前年同期比2.0%減）となりました。

国内医薬ではオルメテック、ネキシウム、メマリー等が伸長したものの、薬価改定や消費税率改定の影響に加え、ジェネリック薬の伸長による影響も大きくなってきており、売上収益は2,203億円（前年同期比2.6%減）となりました。

輸出医薬の売上収益は、108億円（前年同期比12.8%増）となりました。

ヘルスケア（第一三共ヘルスケア株式会社）の売上収益は、227億円（前年同期比1.4%減）となりました。

なお、田辺三菱製薬株式会社が創製した2型糖尿病治療剤カナグルを2014年9月3日に発売しました。既に販売しているテネリアと合わせて、同社との共同プロモーションにより、糖尿病治療剤領域でのプレゼンス向上を目指しております。

## &lt;日本の売上構成&gt;

(単位：億円。億円未満四捨五入)

区 分	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
国 内 医 薬	2,263	2,203	△60 △2.6%
輸 出 医 薬	95	108	12 12.8%
へ ル ス ケ ア	230	227	△3 △1.4%

## ＜日本カンパニー主力品売上収益＞

(単位：億円。億円未満四捨五入)

製品名	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
オルメテック 高血圧症治療剤	376	378	3 0.7%
ネキシウム 抗潰瘍剤	240	321	81 33.7%
ロキソニン 消炎鎮痛剤 (うちロキソニンテープ)	307 (184)	254 (159)	△53 △17.2%
メマリー アルツハイマー型 認知症治療剤	144	168	24 16.4%
クラビット 合成抗菌剤	157	142	△15 △9.8%
レザルタス 高血圧症治療剤	90	90	0 0.3%
アーチスト 高血圧・狭心症・ 慢性心不全治療剤	111	94	△16 △14.8%
メバロチン 高コレステロール 血症治療剤	111	83	△28 △25.2%
オムニパーク 造影剤	100	86	△14 △13.6%
プラリア 骨粗鬆症治療剤	9	30	20 220.1%
ランマーク 癌骨転移治療剤	34	47	12 35.5%



## b. 北米

北米の売上収益は、1,044億円（前年同期比0.3%減）となりました。なお、現地通貨ベースでは10億1千3百万米ドル（前年同期比4.3%減）となりました。

トライベンゾール、エフィエント及びインジェクタファーが寄与しましたが、ベニカー／ベニカーHCT、エイゾール等が競合激化の影響を受け、北米事業全体で減収となりました。

## &lt;第一三共Inc. 主力品売上収益&gt;

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
ベニカー／ ベニカーHCT 高血圧症治療剤	445	330	△115 △25.8%
エイゾール 高血圧症治療剤	85	78	△7 △8.1%
トライベンゾール 高血圧症治療剤	45	50	6 12.7%
ウェルコール 高コレステロール血症治療剤・ 2型糖尿病治療剤	213	211	△1 △0.6%
エフィエント 抗血小板剤 (共同販促収入)	77	82	5 6.5%

## &lt;ルイトポルド・ファーマシューティカルズInc. 主力品売上収益&gt;

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
ヴェノファー 貧血治療剤	118	138	20 16.5%
インジェクタファー 貧血治療剤	2	28	26 1,058.9%

## c. 欧州

欧州の売上収益は、421億円（前年同期比6.2%増）となりました。また、現地通貨ベースでは3億3百万ユーロ（前年同期比0.6%減）となりました。オルメテック／オルメテックプラスが減収となりましたが、セビカー、セビカーHCTが増収となりました。

## &lt;第一三共ヨーロッパGmbH主力品売上収益&gt;

（単位：百万ユーロ。百万ユーロ未満四捨五入）

製品名	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
オルメテック／ オルメテックプラス 高血圧症治療剤	164	147	△18 △10.7%
セビカー 高血圧症治療剤	47	69	22 47.5%
セビカーHCT 高血圧症治療剤	29	39	11 37.4%

## d. その他の地域

その他の地域の売上収益は、272億円（前年同期比15.7%増）となりました。中国、ブラジル等においてオルメサルタンを中心とする主力品が伸長しました。

## ② ランバクシーグループセグメント

売上収益は、80億円増収の964億円（前年同期比9.1%増）となりました。

営業利益は、97億円増益の115億円（連結調整前、前年同期比551.6%増）となりました。

当四半期に発売した高血圧症治療剤バルサルタン後発品が増収増益に貢献しました。

当社は、2014年4月6日に、サン・ファーマシューティカル・インダストリーズ Ltd.（以下「サン・ファーマ」）がランバクシーを吸収合併し、その対価として当社がサン・ファーマの株式を受領するという契約を締結しました。

9月末までに、ランバクシー及びサン・ファーマそれぞれの株主総会で本合併が承認され、現在関係当局の最終審査が進捗しております。

当社は本合併完了時にサン・ファーマの株式を約9%保有し、取締役1名を派遣する権利を有することとなります。

合併後のサン・ファーマは、グローバル・ジェネリック企業としても、インドの製薬企業としても指折りの企業となります。当社としてもサン・ファーマとのパートナーシップを通じたハイブリッドビジネスの新展開を図ることが可能となりますので、合併完了後、本格的に協議を開始する予定です。

## 【研究開発活動】

当社は、競争力のある研究開発パイプラインを充実し、革新的医薬品の迅速かつ継続的な創出に向けた取り組みを推進しており、重点領域を循環代謝領域・癌領域・フロンティア領域と定め、ベストインクラス・ファーストインクラス品目の創出に注力しております。

また、ベンチャースピリットをグループ内に醸成させる取り組みとして、子会社のアスピオファーマ株式会社、U3ファーマGmbH、プレキシコンInc.のさらなる活用に加え、2013年4月にベンチャーサイエンスラボラトリーを設立し、その強化を進めています。

さらに、他社との提携やオープンイノベーションの拡充、バイオ医薬品事業への本格参入に向けた研究開発の強化も推進しております。

### ① プラスグレル

日本においては、2014年5月27日に経皮的冠動脈形成術を伴う虚血性心疾患の適応で発売しました（製品名：エフィエント）。引き続き、虚血性脳血管障害患者を対象とした第3相臨床試験を推進しております。また、米国において実施している小児鎌状赤血球症患者を対象とした第3相臨床試験の患者組み入れが完了いたしました。

### ② エドキサバン

日本においては、2011年より下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制の適応で製品名リクシアナとして販売しておりますが、2014年9月26日に非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制、並びに静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺塞栓症）の治療及び再発抑制の両適応症を追加で取得しました。

欧米においては、2014年1月に承認申請を行っております。

### ③ デノスマブ

デノスマブは、骨代謝に関わる抗体医薬品であり、米国アムジェン社から日本における開発・販売権を取得しております。2012年4月にランマークの製品名で多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変の適応症で発売し、2013年6月にブラリアの製品名で骨粗鬆症治療剤として発売しました。

また、2014年5月23日に骨巨細胞腫に関する承認事項一部変更承認を取得しました。

さらに、乳癌術後補助療法を対象としたグローバル第3相臨床試験、関節リウマチ患者を対象とした国内第3相臨床試験を推進しております。

### ④ 提携及び買収による成果

2014年8月7日、米国チャールストン社から、制吐剤配合の麻薬性鎮痛剤CL-108を導入し、第3相臨床試験を推進しております。

さらに、2014年9月29日、米国アンビット社の買収を発表しました。現在、同社が保有するFLT3チロシンキナーゼ阻害剤キザルチニブについて、急性骨髄性白血病を適応とした第3相臨床試験を共同で推進する予定です。

## 【生産・物流活動】

当社グループは、競争力のある生産体制を構築するため、国内サプライチェーン機能子会社3社（第一三共プロファーマ株式会社、第一三共ケミカルファーマ株式会社、及び第一三共ロジスティクス株式会社）を、2015年4月1日に、第一三共ケミカルファーマを存続会社とする原薬機能会社と、第一三共プロファーマを存続会社とする製剤/物流機能会社の2社に再編いたします。

この一環として、2014年7月31日、当社とアルフレッサファーマ株式会社は、第一三共プロファーマが保有する秋田工場を2015年4月1日付でアルフレッサファーマに譲渡することに合意し、基本合意書を締結いたしました。譲渡後、当社は、当該会社に製造委託し、従来と同じ製造設備、同じ製造及び品質システムのもと、製造が行われます。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における資本合計は1兆616億円（前期末比541億円増加）、資産合計は1兆8,381億円（前期末比160億円減少）、親会社所有者帰属持分比率は56.2%（前期末52.9%）となりました。資本合計は、四半期利益の計上及び在外営業活動体の換算差額の増加等により、前期末と比べて増加いたしました。資産合計は、社債及び借入金の減少等により、前期末と比べて減少しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2014年7月31日に公表した2015年3月期連結業績予想との差異は次のとおりです。

## ① 2015年3月期通期連結業績予想数値の修正（2014年4月1日～2015年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 920,000	百万円 120,000	百万円 120,000	百万円 78,000	円 銭 110.80
今回発表予想(B)	900,000	100,000	100,000	65,000	92.33
増減額 (B-A)	△20,000	△20,000	△20,000	△13,000	
増減率 (%)	△2.2%	△16.7%	△16.7%	△16.7%	
(ご参考)2014年3月期 第一三共グループ業績	899,126	112,885	112,914	68,832	97.78

※第3四半期以降の想定為替レート 1米ドル=105円、1ユーロ=140円

## ② 修正の理由

売上収益につきましては、国内の主力製品の伸長が当初予想に達していないこと、ジェネリック医薬品の処方拡大に伴い長期収載品群の売上が当初予想よりも減少すること等により、2014年4月の薬価改定の影響を凌ぎ切れていない状況にあります。加えて、米国において主力のオルメサルタンの価格競争が激化しております。これらの状況を踏まえ、前回予想を200億円下回る9,000億円に修正いたします。

営業利益につきましては、売上収益の下方修正による減益、また日本における事業運営体制の最適化を実行することに伴う人事関連費用の計上を想定します。一方、さらなる経費削減に取り組み、1,000億円（前回予想比200億円減）の確保を図ってまいります。

以上により、税引前利益は200億円下回る1,000億円、当期利益（親会社帰属）は、130億円下回る650億円へと修正いたします。

なお、サン・ファーマによるランバクシーの吸収合併完了後、ランバクシーグループの最終損益、並びにランバクシー株式とサン・ファーマ株式の交換に伴う損益等は非継続事業に係る損益として計上される予定ですが、その詳細につきましては確定した段階でお知らせいたします。

(注)上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(IFRSにより要求される会計方針の変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当連結会計年度より、次の基準書及び解釈指針をそれぞれの経過措置に準拠して適用しております。これらの基準書等の適用が、要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

基準書及び解釈指針		新設、改訂の概要
IAS第32号	金融商品：表示	相殺表示の要件の明確化及び適用指針の追加
IFRS第10号	連結財務諸表	投資企業に関する定義の公表、投資企業が保有する投資に係る会計処理の設定
IFRS第12号	他の企業への関与の開示	
IAS第27号	個別財務諸表	
IFRIC第21号	賦課金	賦課金に係る会計処理の明確化
IAS第36号	資産の減損	非金融資産の回収可能価額の開示に係る規定の改訂
IAS第39号	金融商品：認識及び測定	ヘッジ会計中止規定に対する例外規定の設定

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	183,070	180,274
営業債権及びその他の債権	269,194	271,103
その他の金融資産	324,160	260,682
棚卸資産	189,408	204,479
その他の流動資産	24,769	15,051
流動資産合計	990,603	931,591
非流動資産		
有形固定資産	316,304	320,343
のれん	85,518	87,636
無形資産	171,417	186,734
持分法で会計処理されている投資	2,624	2,314
その他の金融資産	141,553	149,312
繰延税金資産	122,550	135,181
その他の非流動資産	23,464	24,955
非流動資産合計	863,433	906,478
資産合計	1,854,037	1,838,069



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	245,422	229,491
社債及び借入金	160,326	102,897
その他の金融負債	15,115	12,689
未払法人所得税	5,636	11,995
引当金	22,702	24,436
その他の流動負債	11,985	15,648
流動負債合計	461,188	397,158
非流動負債		
社債及び借入金	263,289	256,071
その他の金融負債	14,177	9,244
退職給付に係る負債	8,947	8,900
引当金	3,747	3,837
繰延税金負債	39,838	44,714
その他の非流動負債	55,320	56,501
非流動負債合計	385,321	379,269
負債合計	846,509	776,428
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,267	105,267
自己株式	△14,408	△14,334
その他の資本の構成要素	121,753	145,408
利益剰余金	717,320	746,394
親会社の所有者に帰属する持分合計	979,933	1,032,735
非支配持分		
非支配持分	27,594	28,906
資本合計	1,007,527	1,061,641
負債及び資本合計	1,854,037	1,838,069

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
売上収益	516,764	525,405
売上原価	174,062	176,122
売上総利益	342,702	349,282
販売費及び一般管理費	195,179	191,648
研究開発費	94,840	88,822
営業利益	52,681	68,811
金融収益	6,767	11,072
金融費用	15,245	13,555
持分法による投資損失	341	961
税引前四半期利益	43,861	65,367
法人所得税費用	12,252	15,058
四半期利益	31,609	50,308
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	33,479	50,326
非支配持分	△1,870	△17
四半期利益	31,609	50,308
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	47.56	71.49
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	47.47	71.34

## 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
四半期利益	31,609	50,308
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	2,877	6,308
確定給付制度に係る再測定額	△138	△15
その後純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	20,679	18,353
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△4	-
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	25	23
税引後その他の包括利益	23,439	24,669
四半期包括利益	55,048	74,978
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	54,887	73,736
非支配持分	160	1,241
四半期包括利益	55,048	74,978

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	その他の 包括利益を通 じて公正価値 で測定する 金融資産
2013年4月1日 残高	50,000	105,194	△14,460	1,504	40,545	959	42,057
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	18,668	△3	2,881
四半期包括利益	-	-	-	-	18,668	△3	2,881
自己株式の取得	-	-	△13	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	68	△46	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	-	-	231	-	-	-
配当金	-	-	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	△2,319
その他の増減	-	-	-	-	0	△0	△0
所有者との取引額等合計	-	-	55	184	0	△0	△2,319
2013年9月30日 残高	50,000	105,194	△14,405	1,689	59,214	956	42,619
2014年4月1日 残高	50,000	105,267	△14,408	1,680	80,252	-	39,821
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	17,133	-	6,293
四半期包括利益	-	-	-	-	17,133	-	6,293
自己株式の取得	-	-	△13	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	86	△46	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	-	-	197	-	-	-
配当金	-	-	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	78
その他の増減	-	-	-	-	△1	-	△0
所有者との取引額等合計	-	-	73	150	△1	-	78
2014年9月30日 残高	50,000	105,267	△14,334	1,831	97,384	-	46,192

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度 に係る再測定	その他の資本 の構成要素 合計	利益剰余金			
2013年4月1日 残高	-	85,067	680,844	906,645	31,835	938,480
四半期利益	-	-	33,479	33,479	△1,870	31,609
その他の包括利益	△138	21,408	-	21,408	2,031	23,439
四半期包括利益	△138	21,408	33,479	54,887	160	55,048
自己株式の取得	-	-	-	△13	-	△13
自己株式の処分	-	△46	△22	0	-	0
株式に基づく報酬取引	-	231	-	231	310	541
配当金	-	-	△21,118	△21,118	-	△21,118
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	138	△2,181	2,181	-	-	-
その他の増減	-	0	-	0	△176	△175
所有者との取引額等合計	138	△1,996	△18,958	△20,900	134	△20,765
2013年9月30日 残高	-	104,479	695,364	940,632	32,130	972,763
2014年4月1日 残高	-	121,753	717,320	979,933	27,594	1,007,527
四半期利益	-	-	50,326	50,326	△17	50,308
その他の包括利益	△15	23,410	-	23,410	1,258	24,669
四半期包括利益	△15	23,410	50,326	73,736	1,241	74,978
自己株式の取得	-	-	-	△13	-	△13
自己株式の処分	-	△46	△39	0	-	0
株式に基づく報酬取引	-	197	-	197	158	356
配当金	-	-	△21,118	△21,118	-	△21,118
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	15	93	△93	-	-	-
その他の増減	-	△1	-	△1	△88	△89
所有者との取引額等合計	15	243	△21,252	△20,935	70	△20,864
2014年9月30日 残高	-	145,408	746,394	1,032,735	28,906	1,061,641

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	43,861	65,367
減価償却費及び償却費	24,304	25,588
減損損失	350	158
金融収益	△6,767	△11,072
金融費用	15,245	13,555
持分法による投資損益(△は益)	341	961
固定資産除売却損益(△は益)	△2,193	669
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	3,666	4,825
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,216	△10,121
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△14,632	△18,449
その他	△7,161	△3,470
小計	46,798	68,013
利息及び配当金の受取額	3,775	2,051
利息の支払額	△1,934	△5,771
和解費用の支払額	△49,764	—
法人所得税の支払額	△23,765	△7,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,891	56,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△99,760	△30,484
定期預金の払戻による収入	77,475	43,716
投資の取得による支出	△184,090	△153,079
投資の売却による収入	139,750	207,088
有形固定資産の取得による支出	△22,095	△20,045
有形固定資産の売却による収入	1,887	91
無形資産の取得による支出	△3,109	△21,395
貸付けによる支出	△948	△654
貸付金の回収による収入	442	646
その他	2,345	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,101	25,801
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行及び借入れによる収入	159,121	25,727
社債の償還及び借入金の返済による支出	△27,801	△96,020
自己株式の取得による支出	△13	△13
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△21,119	△21,124
その他	△499	△526
財務活動によるキャッシュ・フロー	109,687	△91,957
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,305	△9,401
現金及び現金同等物の期首残高	191,145	183,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,682	6,604
現金及び現金同等物の期末残高	195,522	180,274

## (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に医療用医薬品及び一般用医薬品の研究開発・生産・販売を基礎とした経営単位ごとのセグメントから構成されており、「第一三共グループ」「ランバクシーグループ」の2つを報告セグメントとしております。

「第一三共グループ」：当社並びに第一三共Inc. 及び第一三共ヨーロッパGmbH等の子会社が医療用医薬品及び一般用医薬品の事業活動を展開しております。

「ランバクシーグループ」：ランバクシー・ラボラトリーズLtd. を中核とするランバクシーグループが、医療用医薬品及び一般用医薬品の事業活動を展開しております。

前第2四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)

(単位：百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計	調整	要約四半期 連結財務諸表
外部顧客からの売上収益	428,354	88,409	516,764	—	516,764
セグメント間の売上収益	778	641	1,419	△1,419	—
計	429,133	89,050	518,184	△1,419	516,764
セグメント利益 (税引前四半期利益)	50,198	△7,252	42,946	915	43,861

(注) セグメント利益の調整額には、取得原価配分額の償却、セグメント間取引消去等が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

(単位：百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計	調整	要約四半期 連結財務諸表
外部顧客からの売上収益	428,965	96,439	525,405	—	525,405
セグメント間の売上収益	624	933	1,558	△1,558	—
計	429,590	97,373	526,963	△1,558	525,405
セグメント利益 (税引前四半期利益)	60,663	5,958	66,622	△1,255	65,367

(注) セグメント利益の調整額には、取得原価配分額の償却、セグメント間取引消去等が含まれております。

(重要な後発事象)

Ambit Biosciences Corporationの株式公開買付

当社は、2014年9月28日に米国のAmbit Biosciences Corporation（以下「Ambit Biosciences社」）に対して、現金による株式公開買付（以下「本公開買付」）及びそれに続く現金を対価とする合併を実施することにより、Ambit Biosciences社を買収することに合意いたしました。

米国東部時間2014年10月10日から本公開買付を実施しており、買付期間の延長等がなされない限り、米国東部時間2014年11月10日に終了する予定であります。

本公開買付の概要

(1) 買収の目的

Ambit Biosciences社はキナーゼ阻害剤の創薬・開発に携わるバイオベンチャー企業であり、現在第3相臨床試験段階にある急性骨髄性白血病治療薬などの化合物を有しております。当社は癌領域において画期的治療薬を提供することを中長期的な目標と定めており、本買収により、癌領域におけるポートフォリオ強化を図って参ります。

(2) 対象会社の概要

商号 : Ambit Biosciences Corporation  
 所在地 : 米国カリフォルニア州サンディエゴ  
 代表者の氏名 : CEO Michael A. Martino  
 資本金の額 : 18千米ドル  
 事業の内容 : キナーゼ阻害薬の創薬、開発に携わるバイオベンチャー

(3) 買付予定期間

2014年10月10日（米国東部時間）から2014年11月10日（米国東部時間）  
 当買付期間は延長されることがあります。

(4) 買付予定価格

1株あたり15米ドル

(5) 買付に要する資金

約315百万米ドルを支払う予定であります。  
 主要開発品AC220の上市時に追加で最大100百万米ドルの支払いを予定しております。

(6) 本公開買付による当社保有のAmbit Biosciences社株式数の異動

本公開買付前保有株式割合 : 0%  
 本公開買付後保有株式割合 : 100%

(7) 買付資金の調達方法

自己資金